

FKT Office Presents

特別提言【前編】

国は「零細」を潰したがつている

データで見るM&Aの必然性と、従業員を守る唯一の道

これは単なるビジネスの話ではありません。「国の意志」であり、「人の命」を守るための緊急提言です。

<http://fkt-office.com/>



残酷な現実：厚労省・経産省の本音

**「体力のない零細事業者には
退場してほしい」**

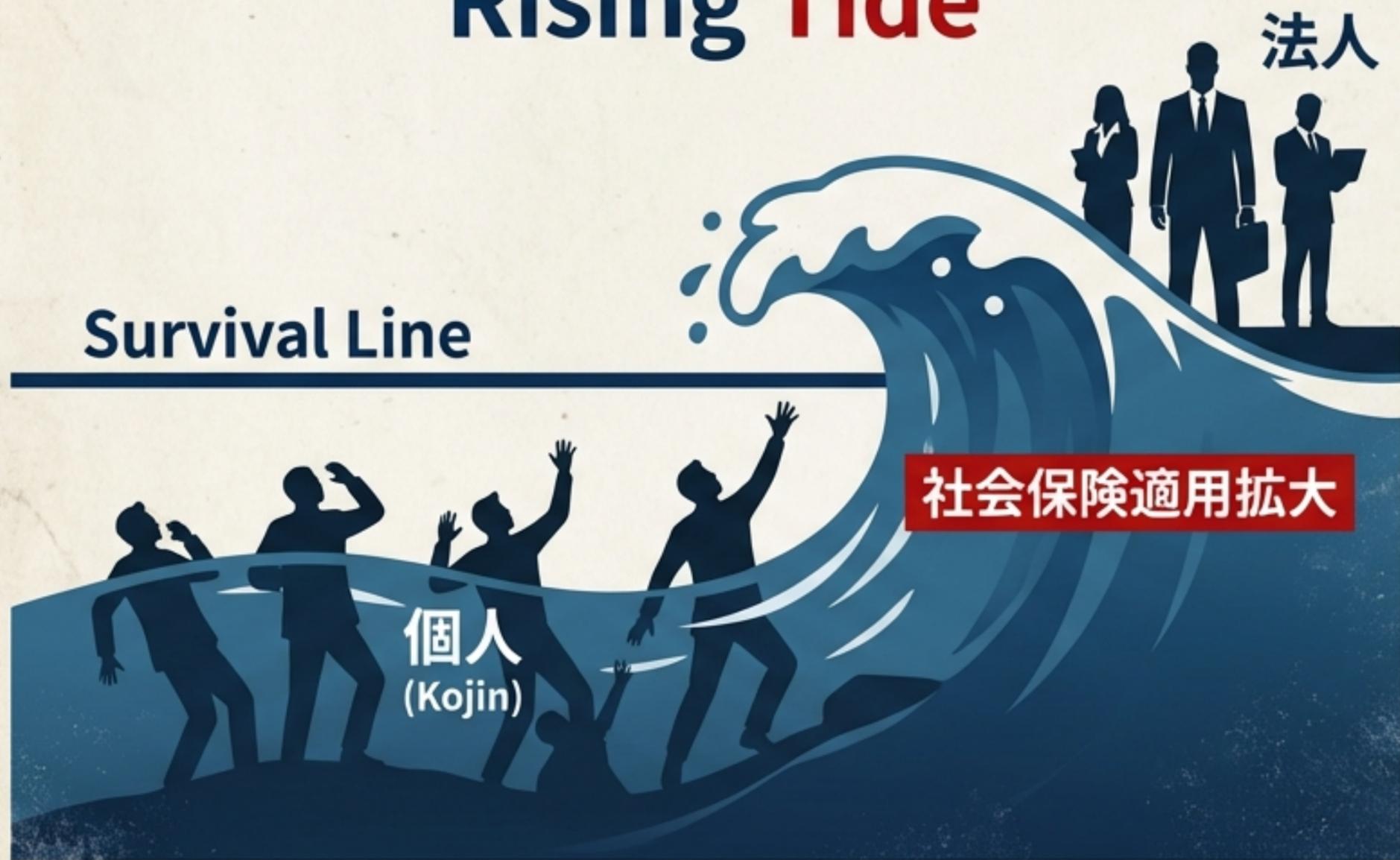
日本政府、特に厚生労働省や経済産業省は、労働力を集約させたいと考えています。

彼らが求めているのは、しっかり稼いで保険料を払える「法人」です。個人の小規模オーナーは、政策的に淘汰される対象となっています。

「個人だから」という言い訳はもう通用しない

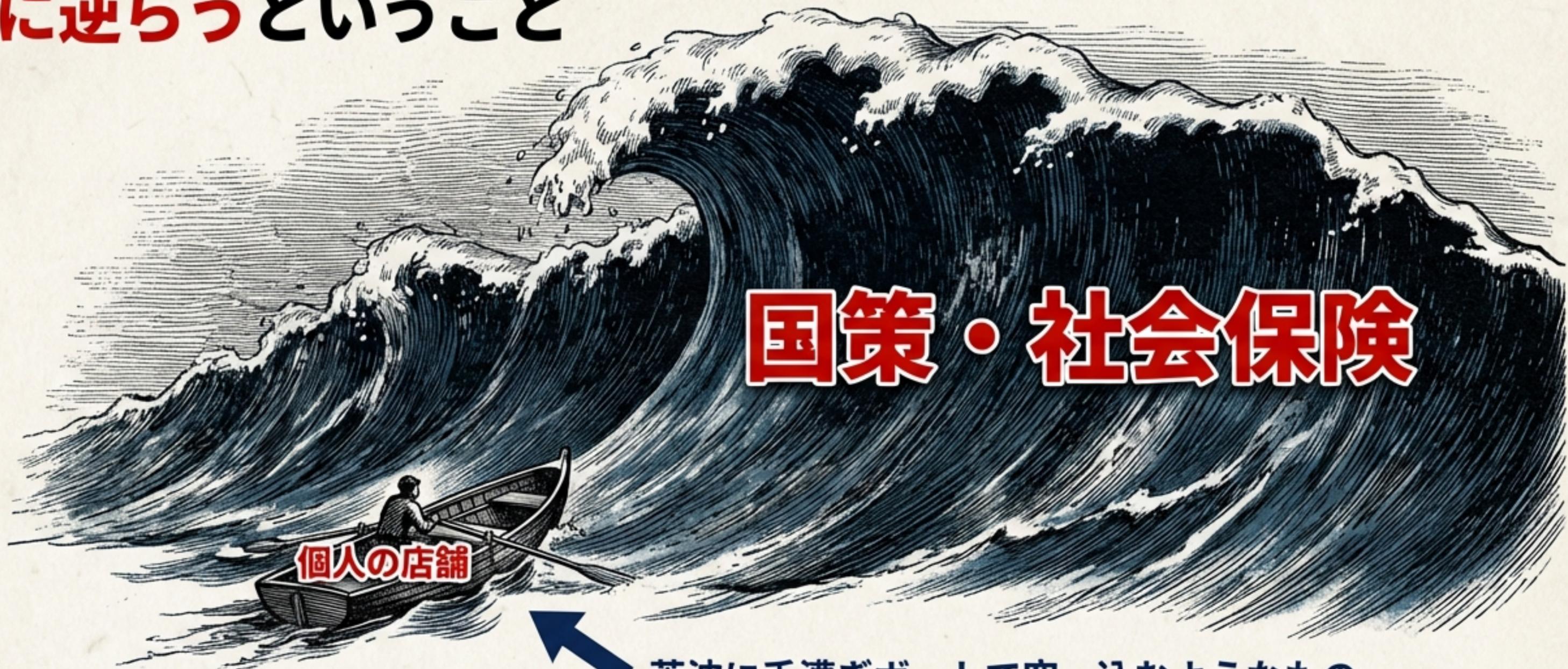
社会保険適用拡大の真の意味

Rising Tide



かつて通用した「個人事業主だから保険に入れない」という理屈は、法改正により封じられつつあります。この流れは止まりません。国は本気で「法人化」と「集約」を進めています。

国策に逆らうということ



荒波に手漕ぎボートで突っ込むようなもの

社会保険の適用拡大という巨大な波に対して、個人の手で抵抗するのは無謀です。
このままでは、ボート（店舗）は転覆し、沈むのを待つだけです。

もし店が「閉店」になったら、誰が泣くのか？

従業員・パート・アルバイト全員解雇



明日からの給料がゼロになります。
生活の糧を突然失うことになります。
これが「閉店」のリアルです。

本部の言葉を信じてはいけない

本部：「近くの新店で面接を受けてください」

それは「再雇用」ではなく
「新規採用」です。



本部は軽く言いますが、その実態はまったく異なります。

従業員にとって、それは救済措置ではありません。

すべてが「リセット」される恐怖



積み上げた昇給がなくなり、
最低賃金からのスタート。



勤続年数がリセットされ、
有給休暇も消滅。



ベテランとしての地位を失い、
一からの試用期間。

履歴書を書き直し、見ず知らずの店で「新人」として扱われる屈辱。

彼らは「使い捨て」の道具ですか？

**「長年尽くしてくれた人を、
ゴミのように使い捨てる行為です」**

閉店を選択することは、共に働いてきた仲間を路頭に迷わせることと同義です。

あなたには、彼らを守る責任がありませんか？

従業員を路頭に迷わせない唯一の選択肢：M&A

M&Aとは「バトンを渡す」仕組み



- **雇用契約の承継**：新しいオーナー（法人）が、現在の雇用条件をそのまま引き継ぎます。
- **店舗の存続**：店は潰れず、仕事場はなくなりません。

昨日と同じ制服、昨日と同じ給料



- ✓ 翌日から、彼らは同じ場所で働けます。
- ✓ 時給も下がりません。
- ✓ 有給も消えません。
- ✓ 積み上げた信頼関係もそのままです。

あなたが選ぶべき未来はどちらですか？

閉店 / Closure	M&A / Business Succession
 全員解雇	 全員雇用継続
 給料ゼロ	 給料維持
 キャリアリセット	 キャリア継続
 「使い捨て」	 「人助け」

M&Aは「金儲け」ではない。「人助け」です。



国の方針に従い、賢く退場する。

しかし、仲間は見捨てない。

それが、オーナーとしての最後にして最大の責任です。

あなたの決断が、彼らの生活を守ります

手漕ぎボートで沈む前に、正しいボタンタッチを。

FKT Officeにご相談ください。

FKT Officeにご相談ください。

<http://fkt-office.com/>